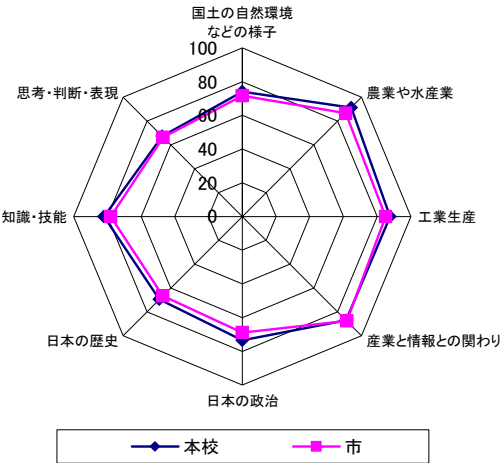


宇都宮市立瑞穂台小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	74.0	71.6	69.6
	農業や水産業	91.4	86.7	83.7
	工業生産	87.6	85.0	79.5
	産業と情報との関わり	87.1	87.7	77.4
	日本の政治	73.5	68.9	71.7
	日本の歴史	69.6	66.7	66.3
観点別	知識・技能	82.0	78.0	76.7
	思考・判断・表現	67.3	66.4	63.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	正答率は市平均を上回る。(＋2.4ポイント) ○日本の地形(湖)問う問題の正答率は、市平均を大きく上回る。(＋10.6ポイント) ●地図から方位等からオーストラリアを見出し国旗で答える問題の正答率は、市平均を下回る。(－3.8ポイント)	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・授業などにおいて地図帳を積極的に活用し、日本とつながりの深い諸国に関する興味・関心を深める指導をしていく。
農業や水産業	正答率は市平均を上回る。(＋4.7ポイント) ○米の生産の工程について理解している。	・米の生産が盛んな理由や、水産物の流通の工夫については理解をしているが、資料の中で必要な情報を読み取ることができるよう指導していく。
工業生産	正答率は市平均をやや上回る。(＋1.7ポイント) ○自動車の製造工程や部品を再利用する目的を問う問題の正答率が高い。 ●日本の主な輸入品・輸出品について問う問題の正答率は、市平均を下回る。	・教科書等の資料やグラフを活用しながら、日本の工業の特色について読み取ることができるよう指導していく。
産業と情報との関わり	正答率は市平均と同程度である。(－0.6ポイント) ○さまざまなメディアの特徴について問う問題の正答率が高い。 ●情報の発信と受信の注意点について問われる問題の正答率は市平均をやや下回る。	・引き続き、教科を超えて情報についての利点・注意点を発達段階に応じて指導していく。 ・自分の持っている知識を生かして、様々な場面を想定し情報活用の利点・注意点を自分で判断できるような指導の工夫をしていく。
日本の政治	正答率は市平均を上回る。(＋4.6ポイント) ○憲法に述べられる天皇の地位や権限に関する問題や間接民主制を問う問題の正答率は、市平均を大きく上回っている。(＋10ポイント以上)	・日ごろから社会情勢に興味をもつように働きかけ、知識として定着できるような指導をしている。
日本の歴史	正答率は市平均を上回る。(＋2.9ポイント) ○鉄砲の伝来についてを問う問題の正答率は市平均を大きく上回る。(＋8.2ポイント) ●鎌倉・室町時代の元との戦いについての理解を問う問題の正答率は市平均を大きく下回る。(－5.8ポイント) ●江戸幕府の鎖国についての理解を問う問題の正答率は市平均を下回る。(－3.1ポイント)	・デジタル教科書の映像資料や資料集の視覚的資料を有効に活用しながら理解を深めて行けるよう指導していく。 ・記述問題については、時代の出来事と流れを理解できるような指導の工夫をする。